



## リエコラボ 通信

※「リエコラボ」とは、私の名前と「エコ（環境保全）」「コラボ（共創）」「ラボ（研究室）」をかけた造語で、探求心と新しい視点を持ち、都政について一緒に考え、議論し、創り上げる会でありたい、という想いを込めています。

首都大学東京の実績と  
東京都 ICT 戦略に検証を求める

9月20日～10月5日で開催された都議会第三回定例会は、小池都知事の、「人に焦点を当てた政策によって、人口減少そして超高齢化社会を乗り越える」という所信表明から始まり、9月26日に各会派の代表による代表質問、翌27日に各会派の所属人数に応じて割り当てられた所属議員による一般質問が行われました。私は、代表質問の“首都大学東京”と“防災における官民連携へのICT導入”を作成しました。

9月29日の委員会質問（総務委員会）では、私も初めて質問しました。まず首都大学東京に対する高評価<sup>\*1</sup>が都民の認識と乖離している点に着目し、今後は、数値目標を積極的に導入し、より客観的かつ比較できるような評価にすることを確認し、国際的に通用する能力獲得のためのカリキュラム拡充（プログラミング教育、英語教育、STEAM教育など）を求めました。

次に、東京都ICT戦略<sup>\*2</sup>について、東京都の総務局統計部の主な業務が数値の集計であり、行政運営に寄与していない点<sup>\*3</sup>に疑問を感じ、統計データという客観的根拠に基づいた政策の企画立案の推進と、先行事例をふまえた費用対効果の精査、施策の重複や効果の低い事業の回避を求め、いずれにも取り組むとの回答を引き出しました。

- ※1 「公立大学法人首都大学東京の第二期中期目標期間の業務実績評価」
- ※2 「『東京都ICT戦略（仮称）』の策定に向けて～基本的考え方と主要施策の方向性～」
- ※3 例えば都は、「地方公共団体における統計利活用表彰」に申し込んでいません。

**プロフィール** 1971年世田谷区桜上水生まれ、世田谷区新町在住。東北大学大学院理学研究科修了後、民間研究機関に22年勤務。2017年より現職（1期目）。



▲総務委員会で初めての質問に立つ、福島りえこ議員。

東京都子どもを  
受動喫煙から守る条例成立

子どもの受動喫煙を防ぐために自宅などでの禁煙を努力義務とする条例案を、都民ファーストの会 東京都議団、公明党、民進党が共同で提案、10月5日の本会議で可決成立しました。私生活の空間での喫煙に歯止めをかける都道府県条例は全国初。来年4月の施行を予定しています。

## ラボ「良い質問」ってナニ!?

本会議も委員会も、都民を代表するという意識を大切に、各局の担当者と議論しました。行政側は計画内で答弁しようとはしますが、共感が得られればその後の仕事に反映されるはず。そういう意味で私は、良い質問とは、**（肌で感じた都民の声や情報）×（議員の調査活動の量や専門性）×（都の行政範囲）** だと思います。手を動かしている人（行政）に、私（議員）が口だけで関係にならないよう、担当者の気持ちに火をつける良い質問（良い提案）作りに取り組みます！

## 出張 リエコラボ ● 福島りえこと一緒に話そう、考えよう ●

## ● タウンミーティング ●

さまざまな課題について話し合い、ともに解決策を考えます。  
参加者同士で交流し、住みやすい地域をつくりましょう！

**次回開催：テーマ「東京都 ICT 戦略」**

日時：12月16日（土）18:00～20:00 場所：用賀地区会館

## ● 都政報告会 ●

福島りえこを通じて都政を知っていただき、  
皆さまのご意見で、よりよい政策づくりを目指します。

**次回開催：「第2回都政報告会」**

日時：11月23日（木・祝）18:00～20:00 場所：成城ホール



# 自分の目で見る、皆さまの声を聞く、調査する



◀▲災害ボランティア養成講座に参加。「地域の力で」問題解決の一例を実現。

コラボ

## 参加する都政報告会を開催！

8月31日に、ゲストに保坂世田谷区長、都民ファーストの会 東京都議団の伊藤ゆう都議（政務調査会長代理）、入江伸子都議、あかねがくぼ嘉代子都議をお招きし、三軒茶屋しゃれなあどホールにて、初めての都政報告会を開催しました。64名の皆様にご参加をいただきました。

前半は、保坂区長から、保育施策をはじめとする6年間の実績紹介、伊藤都議からは、都民目線をもった新しいメンバーによる都議会への期待、私からは、次世代の育成、現役世代の能力発揮、そして地域のつながり再生という3つのビジョンと、都政改革には都庁職員の共感が不可欠という気づきについてお話をさせていただきました。

後半は、皆様の声をより深くお聞きするためのワークショップを行いました。テーマは、総務委員会で取り扱う“防災”や、私の構想の鍵となる“地域参加”など。それぞれの背景が異なる参加者同士の議論は、まるで化学反応のようでした。これからも皆様と共に暮らしやすい東京を考えたいきます。

▶▼ワークショップで参加する都政報告会を実施。皆さんより様々なご意見をいただきました。



コラボ

## 地域イベント視察で現場を知る

9月16日には、世田谷ボランティア協会が主催する「マツチングコーディネーター養成講座」を視察しました。首都直下型地震を想定した各地から訪れるボランティアの受け入れと区内への派遣の模擬訓練です。参加者の性別、世代が多様で、「自分達の住む場所は自分達でなんとかする」という住民意識が醸成されるまでの積み重ねを感じました。

9月24日は駒沢オリンピック公園で行われた「世田谷区内消防団合同点検」を視察しました。消防署と連携して活動にあたる消防団を支える地域の皆様に心から敬意を表すると同時に、この活動を担える人が、商店街や個人事業主、区内企業の勤務者など、日中も地域にいる方に限られることから、他の地域活動と同様に、高齢化が進むことによる持続性の課題を実感しました。

人口減少により税収が減少するなか、行政サービスを維持するためには「地域の力の活用」は重要な考え方です。今回、その具体的な形を見ることができました。今後に生かしてまいります。

## ラボ - 都政でのデータ活用推進について

都政が扱う領域は、経済から福祉まで広く、そして相互に関係しています。また、都民の皆様の声をお聞きすることが大切である一方、1300万人全ての声を等しく都政に反映することは容易ではありません。そこで私は、政策の企画立案の精度を高めるため、総務委員会に質問したように、統計データな

どの客観的根拠を用いることを求めています。さらには、専門家の声を聴きながら、最先端のデータ分析技術の適用可能性も模索していきます。

将来の政治家の役割は、あるべき社会の姿を示す（目的関数をつくる）ことになるのかもしれませんが。

生活の中での困りごとなど、ご意見／ご要望をお寄せください！



<E-mail QR>

都民ファーストの会 東京都議団 東京都議会議員 福島りえこ  
〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1 東京都議会議事堂 5階

TEL 090-8345-6086 FAX 03-4243-2721

Email tomin1st.fukushima.rieko@gmail.com



お寄せいただいているご意見（一部）

- ・ 障害者雇用について
- ・ 都立の運動施設について
- ・ 介護報酬の地域手当について
- ・ 東京独自のお祭りの開催について
- ・ 障害者向けのタクシー補助について